

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほたて		
○保護者評価実施期間	2026年2月20日 ~ 2026年3月6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35世帯（兄弟でご利用の場合は、兄弟それぞれではなく、1世帯に1部のご提出）	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年2月20日 ~ 2026年3月6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性や興味関心を丁寧に把握し、それぞれに合った支援を行っています。個々の得意なことや才能を活かせる活動を取り入れることで、主体的に参加できる環境づくりに努めています。	日々の関わりの中で児童一人ひとりの興味関心や得意なことを職員間で共有し、活動内容や支援方法に反映できるようにしています。また、成功体験を積み重ねられるよう、個々の特性に応じた声かけや役割設定を行っています。	今後も児童一人ひとりの特性や得意なことをより深く理解できるように、職員間での情報共有や振り返りの機会を充実させていきます。また、児童の興味関心や才能を活かした活動の幅を広げることで、より主体的に参加できる支援環境づくりを進めていきます。
2	町内会との関わりがあり、地域行事への参加や行事ポスターの作成などを依頼されることもあり、地域との交流が図られています。こうした活動を通して、児童が地域と関わる機会にもつながっています。	日頃から町内会との関わりを大切に、地域行事への参加や交流の機会を持つことで、地域との信頼関係が築かれていることが要因と考えられます。	今後も町内会との関係を大切にしながら、地域行事への参加や地域と関わる活動の機会を広げ、児童が地域とのつながりを感じられる取り組みをさらに充実させていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童クラブ等の地域の子どもたちとの交流の機会が十分とは言えず、取り組みが今後の課題となっています。	児童の特性や安全面への配慮が必要なことから、交流の場や活動内容の調整が難しい場合があり、児童クラブ等との交流機会を十分に設けることができていない状況があります。	今後は、児童の特性や安全面に配慮しながら、地域の児童クラブ等との情報交換や連携を進め、無理のない形で交流の機会を少しずつ広げていきたいと考えています。
2	避難訓練や職員研修等は実施しているものの、災害時の対応や災害マニュアルについて、保護者への周知が十分とは言えない点が課題となっています。	災害マニュアルの内容について、保護者へ説明する機会や周知方法が十分ではなく、取り組みが保護者へ十分に伝わっていないことが要因として考えられます。	今後は、災害マニュアルの内容や災害時の対応について、保護者会やお便り等を活用しながら周知の機会を増やし、保護者と情報共有ができるよう取り組んでいきます。